

# 共済型モデル

## 問題意識

**1時間いくら、では相当高額でなければ成り立たない**

安定的な収入のためには

**発病率に応じた月会費を掛け捨て**

**レスキュー(病児保育)時には無料**

なぜ経済的に自立できないか？

**使わなければ月会費が下がり、使えば上がる自動車保険方式**







# 現状の問題点(3つの問題)

- 施設補助金の問題
  - － 補助金が少なすぎる
- 施設委託対象の問題
  - － 小児科が直接運営する限界
- 非施設型の問題
  - － ファミサポではできない

# 補助金の問題

## ●09年度(改定前)病児保育施設補助(※病後児保育は更にこれ以下)

のべ預かりこども数(年)	補助金額(年)
50人～199人	200万円
200人～399人	480万円
400人～599人	700万円
600人～799人	920万円
800人～999人	1,120万円
1,000人～1,199人	1,320万円
1,200人～1,399人	1,520万円
1,400人～1,599人	1,720万円
1,600人～1,799人	1,920万円
1,800人～1,999人	2,120万円
2,000人～	2,320万円

← **東京都平均**  
小児科併設型の平均稼働率52.7%を定員数4名にかけると547人  
840万円→700万円に

140万  
DOWN !

事実上の補助額切り下げで、施設の大半が赤字に